

「待望の新しいプール」25m水泳頑張るぞ!!」

小野小学校のプール竣工式挙行

小野小学校の屋外プールがこのほど完成し、6月15日、竣工式を行いました。

同小学校の旧プールは、昭和46年に完成したコンクリート製で、老朽化が進んでいたため、昨年8月から全面改修を行ってきました。新たに完成したプールは繊維強化プラスチック(FRP)製で、長さ25m、幅6mのメインプールと、低学年用の長さ10m、幅3mのサブプール。プール横

には管理棟も整備しました。

式典には、児童約60人の他、地元関係者や市議会議員、市の関係者らが出席。児童会長の藤川心菜さん(6年)は「古いプールにもたくさんさんの思い出がある。今日からは新プールの歴史がスタートします。このプールなら、きつとみんな去年よりたくさん泳げるようになると思います。授業も地区プールも楽しみたい」と話しました。



▲新しいプールに向かう児童ら

記録的雨量

「平成30年7月豪雨」

7月4日昼から7日朝にかけて、本州付近に停滞していた梅雨前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、本市に猛烈な雨が、断続的に降りました。本市内の降り始めからの雨量は約400mm。円山川立野水位観測所の水位は、一時、氾濫危険水位(6・20m)を超える6・96mまで上昇しました(5ページに関連記事「市長の徒然日記」あり)。

この豪雨で、建物や農地などの被害に遭われた方々に対して、お見舞い申しあげます。

6月21日、田鶴野小学校で、4年生25人を対象に「赤ちゃん先生」を開催しました。「赤ちゃん先生」とは、NPO法人ママの働き方応援隊による活動の一環で、命の大切さなどを赤ちゃんから学ぶ授業です。養成講座を受講した母親(ママ講師)が「子育てをプランクではなく、キャリアに」を合言葉に、子育てでしかできない活躍の機会として取り組みます。

「子育て中にしかできない活躍の機会」

市内小学校で初開催「赤ちゃん先生」

赤ちゃんに靴下をはかせる体験で、小さな足に触れた児童が「僕もこんなやつたのかな」と言いながら、優しく靴下を履かせていました。ママ講師は「みんなにも、これまで育ててくれた親がいることを改めて感じてほしい」と伝えました。

本市は、この事業の開催を希望する地域コミュニティ等を募集しています(☎ハートリーフ戦略室 ☎21-9100)。



▲生後2カ月の「赤ちゃん先生」を抱っこする児童



▲増水した戸牧川 [立野橋から市民会館(中央奥)を撮影(7月7日午前10時22分)]

「6月」

「7月」

- 16日・円山川日高地区稲葉川合流部完成報告会
- 18日・市所有施設のブロック塀等の緊急点検および一部緊急撤去(28日)
- 19日・玄さん元気教室実施団体150団体達成
- 25日・豊岡市地方創生総合戦略(第4版)の改訂
- 27日・第9次インドネシア漁業実習生修了証授与式
- 1日・慶應義塾大学との共同研究(高橋地区フィールドワーク第2回)
- 2日・ボート日本代表チーム長期海外遠征に「コウノトリ育むお米」等を提供
- 大阪府北部地震被災地に職員派遣(6日)
- 3日・関係機関合同水難救助訓練
- 5日・豊岡市災害対策本部設置
- 6日・市全域に避難勧告発令(※大雨特別警報(土砂災害))

## 熱中症予防と教育環境の向上を図る

### 全市立中学校の空調(冷房)設備運転開始

平成28年度から整備を進めてきた市立中学校の空調設備の取付け工事が完了し、6月25日、全ての市立中学校で冷房の使用を開始しました。

今回整備したのは、建設時から設置してある但東中学校を除く八つの中学校、129

教室。普通教室や特別支援教室、理科室、音楽室など、生徒が主に使用する教室に設置しました。熱中症予防、教育

環境の向上を図ります。

冷房中の室内温度は、28度を基準とするなどした運用指針を定め、適正に使用します。また、職員室にデマンド監視装置を設置し、節電に努めます。

稼働期間は、6月下旬から9月中旬までを基本とし、冬の暖房設備は、既存のファンヒーターやベレットストーブなどを利用します。



▲冷房が効いた教室での授業(豊岡南中学校)

### 現地の日本食材店2社5店舗で販売開始 オーストラリア向け「コウノトリ育むお米」輸出開始

昨年12月、ウェブサイトで日本食文化を発信しているSDマーケティンググローバル社(オーストラリア)が、オীগニックなどに関心の高い人たちが集まるシドニー市内の食のイベント「キリビリマーケット」に、コウノトリ育むお米を出品しました。このイベントで、同米は、無農薬米であることに加え、コウノトリ野生復帰のストーリーが共感を呼び、また食味も良

いと、高い評価を受けました。本市は、本年4月から、SDマーケティンググローバル社に同米のプロモーションを委託。また、5月には、輸出事業者のJ A 全農インターナショナルと本市職員が販路開拓のため渡航し、6月、日本食材店2社(5店舗)への販売が決定しました。



▲熱心に「コウノトリ育むお米」の資料を読む男性(キリビリマーケットにて(2017年12月)[Washoku Lovers ブログより])

## 中貝市長の徒然日記 (129)

### 災害列島・日本

6日間の出張を終えた7月5日午後、帰庁と同時に災害対策本部を立ち上げました。大雨が迫っていました。市の防災担当は、台風7号とそれに続く梅雨前線への警戒で、疲労に包まれていました。

「風呂でも入ってこい」本番は翌日以降とららみ、一部を残し職員を帰宅させました。6日午前11時、円山川流域

全体の累加雨量は210mmに達しました。大水害を引き起こしたあの台風23号が278mmでした。夕方からさらに強い雨が降ると予想されていました。緊張が一気に高まりました。

保育園・こども園・放課後児童クラブの全園児・児童の迎えを16時までに完了するよう保護者に要請。職員は、国土交通省、気象台、気象情報会社と頻繁にやり取りを続けます。自然の脅威が迫ったとき、市の最大の仕事は、市民の安全確保です。とにかく無事に逃げてもらうこと。

14時、自主避難所を開設。16時、全ての避難所の開設準備を完了。

19時、267mm。土砂災害の危険性を示す赤の1kmメッシュが豊岡の地図上に一気に広がっていきます。現場からは、冠水、通行止めの報告が次々と入っていました。

21時15分、気象台からホットラインで「今後、大雨特別警報を出す可能性」との連絡。

22時50分、気味の悪い警戒音に続いて、防災行政無線で「大雨特別警報」が流れていききました。直後に市内全域に避難勧告を発令。避難所への移動はかえって危険です。2階以上の山から遠い部屋への至急の避難を呼びかけます。

毎時の円山川、出石川、奈佐川の観測地点の水位は上がり続け、1時間後、2時間後、3時間後、4時間後の予測水位も上昇を続けていました。

7日午前4時、立野地点の水位が、排水機停止の基準まであと20cmに迫ります。それがピークでした。午前5時以降の予測水位が下がり始め、ぼくたちは大きく息を吸って、吐いたのです。

2~3

今月のイチオシ

4~5

市政ニュース

6~23

豊岡 クローズアップ

24~31

くらしの情報

32~33

保健行事

34~35

図書館・つどいの広場

36~37

主な相談・主な行事